

テーマ：「ようこそ、市長室へ！」

稲村 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。

まだまだ暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？

月に一度お届けしています、このコーナー。今回は、「ようこそ、市長室へ！」と題しまして、わたくし、稲村のトークで進めてまいります。

さて、市役所の中にある「市長室」は、私が市長として職務を行う「オフィス」であると同時に、市役所を訪れる皆さまをお迎えする「迎賓館」の役割も担っています。

毎年、様々な分野で活躍される皆さんが、ご自身の活動の報告などで、まあ本当に市長室をたくさん訪れてくださっています。尼崎市に寄付をお持ちいただく、ということもありますし、そういったことに対して、感謝状などの表彰をさせていただくこともあります。

皆さんの活動内容ですとか、色々な熱い思いをお聞きすることができますので、私も、色々なお客様をお迎えするのを、とても楽しみにしています。

そこで今回は、今年度、市長室を訪問してくださった方々を、皆さまにもご紹介したいと思います。

まずお一人目は、皆さんもご存知、尼崎出身のF1レーサー、**小林 可夢偉さん**です。

尼崎市出身で、世界で活躍されるF1レーサーということで、尼崎市の「チャレンジ！あまがさき夢大使」も引き受けてくださっています。現在は日本人唯一のF1レーサーで、今シーズンは「ケータハム・ルノー」に所属し、参戦中です。

可夢偉さん、1年間F1から離れていらっしゃったんですが、今回この「ケータハム」で復活し、2年ぶりに尼崎市を訪れてくださいました。

今、可夢偉さんを地元でもどんどん応援しようと、尼崎商工会議所の吉田会頭と市長の私が代表となり、応援団を作っているんです。当日の可夢偉さんの訪問は、吉田会頭と一緒にお出迎えしました。その後、キューズモールでトークイベントをしていただき、可夢偉さんも、本当に幅広いファンの方との交流を深めていらっしゃいました。

可夢偉さんには、帰国の際にはいつも必ず、尼崎市役所にお寄りいただき、私も大変うれしく思っています。

地元応援団では、今年2014年も「小林可夢偉 応援バスツアー」を企画しています。10月5日の「F1日本グランプリ鈴鹿」を観戦するツアーで、申込み締め切りは9月5日です。まだまだ受付していますので、皆さんぜひともふるってご参加ください。

ツアーの申込みはJTB西日本 尼崎支店で受け付けています。電話番号は、06-6412-5154です。皆さん、ぜひ一緒に可夢偉を応援しに行きましょう！

また、市内の小学生や高校生など学生の皆さんも、たくさん市長室に来てくださっています。7月24日には、なんと3つの学校やチームの、児童・生徒の皆さんが来てくださいました。

まずは「**浜ウインドキッズ**」という少年野球チームです。

実はこの「**浜ウインドキッズ**」の皆さん、「第34回 高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント」の兵庫大会で見事優勝されまして、8月の全国大会に出場が決定しました。そこで、「頑張ってきます！」という抱負も含めて、報告に来てくださいました。

私からは、「怪我なく、とにかく普段の力を出し切って、頑張ってきてください。」と激励しました。市長室を訪れる皆さんは、緊張していることが多いのですが、この「**浜ウインドキッズ**」のみんなは、元気一杯の様子でした。このようなみんなの活躍を見ると、いつも「頼もしいな」と思います。

続いて、**市立尼崎双星高校 書道部**の皆さんが、同じ日に来てくださいました。

ラジオをお聞きの皆さんのなかには、「書道パフォーマンス」というのを、テレビでご覧になった方もいらっしゃると思います。箒のような大きな筆を使って、大きな紙に、チームで作品を仕上げていく、というものです。

この**尼崎双星高校 書道部**は、「第7回 全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会」に出場が決定した、ということで、その報告に来てくださいました。その際には市長室に、縦4m、横6mの本当に大きな、すでに書かれた作品を持ってきて披露してくださいました。その作品には、「**勇氣**」の文字が大きく、そしてその周りにも色々なメッセージが書かれたもので、本当に力強く、素晴らしい作品でした。

その後の全国大会では、「**未来**」という文字を中心に書き上げられた、と聞いています。今後ますますの活躍を期待したいと思います。

そして3人目は、**本田 美波**さんという**市立尼崎高校 体操部**の方です。

本田美波さんは同校体育科の2年生で、「第68回 全日本体操種目別選手権大会」で、平均台4位、段違い平行棒7位という好成績を収め、9月に韓国の仁川で開催される「第17回 アジア競技大会」に出場が決定した、ということで、その報告に来てくださいました。体操部の部員の皆さんと一緒に来庁して下さったのですが、皆さん、とってもいい表情でした。

こういう、全国、そしてアジアレベルで活躍する選手が出てくると、全体のレベルも底上げされていくんじゃないかと思います。

ちなみに本田さんは、表敬訪問後の8月の「インターハイ」では、女子個人総合3位という快挙を成し遂げられまして、さらに**市立尼崎高校**が団体総合4位という好成績を収められました。9月の「アジア競技大会」にも大きく期待したいと思います。皆さんもぜひ、一緒に応援してください。

そして次は、スポーツとは変わりがまして、ちょっと珍しいお客様をお迎えしたので、ご紹介します。

皆さん、この都市部の**尼崎市**の、しかも**国道2号線**の近くで、とってもおいしい**トマト**が栽培されていることをご存知でしょうか？

この大変おいしいと大評判の「**コテラトマト**」を栽培していらっしゃる、**尼崎**の若手農業経営者、**小寺 清隆**さんが、8月に市長室を訪問してくださいました。と言いますのも、このコ

テラトマト、今年度の「第46回 兵庫県ハウストマト立毛品評会」で、見事、最優秀賞の「農林水産大臣賞」を受賞されたんです。今回はその報告に、市長室に来ていただきました。

浜田町の「コテラトマト農園」は、尼崎南警察署 西分庁舎のすぐ向かいにあるのですが、このコテラトマトは本当に大評判なんです。

こちらでは、小寺さんが栽培したトマトを直売するのはもちろんのこと、皆さんがオーナーとなって、小寺さんが世話をする苗木から収穫して食べることができるという「オーナー制」も取り入れていらっしゃいます。このコテラトマトのおいしさが口コミで広まり、今や直売日には大行列ができています、ということです。

今回の受賞は、品質はもちろんのこと、栽培の仕方などの厳しい現地審査の結果選ばれた荣誉で、尼崎市からは初の受賞なのだそうです。最年少の受賞でもあるということで、なんだか私も、とっても誇らしい気持ちになりました。愛情は込めて、でも甘やかすことなく、このような甘いトマトを育てる小寺さんの頑張りに、敬意を表したいと思います。

また、小寺さんは、「直売トマトのおいしさを口コミで広めてくれた、尼崎のたくさんのおばちゃん達やお客様に、本当に感謝しています」、そして、「これからも、こういった地元の人たちの期待に応える農業をしていきたい」とおっしゃっていました。「都会のオアシスを目指して頑張ります」とも。

このように尼崎市には、色々な分野の第一線で活躍されている方、また、尼崎への思いを込めて寄付をしてくださる方など、本当にたくさんの方がいらっしゃいます。

そして、市立塚口中学校出身の4人組ロックバンド「*WDRS (ワンダラーズ)*」の皆さんも、市長室に来ていただきました。

このWDRSは、尼崎への想いを強く持ちながら活動してくださってございまして、2013年、去年の3月に、尼崎を応援するウェブサイト「WE LOVE AMA」を開設。8月には、尼崎をイメージして作ったミニアルバム「Stories」をリリースされました。

そして、「ぜひ尼崎の子ども達の役に立ちたい」と、このたび、このミニアルバムの収益金の一部を、同じ音楽に携わる「尼崎市少年音楽隊」へ、楽器購入費として寄付してくださることとなりました。同音楽隊は、この寄付によりホルンを購入したとのこと。私からも感謝の気持ちをお伝えしました。

実は皆さん、バックにかかっているのが、WDRSの「塚口ストーリー」という曲です。皆さんもじっくりお聞きいただき、尼崎への想いを共有していただければ、嬉しく思います。

今日は時間がなく、一部のご紹介となりましたが、他にも、ファゴット奏者として日本のコンクールのファゴット部門で見事優勝された、**常田 麻衣さん**の訪問などもあり、このような皆さんの力で支えられて、尼崎のまちづくりが進められています。そういった方々が色々な報告をしてくださるこの市長室での様子を、今日は、ラジオをお聞きの皆さんにもお伝えし、情報共有できればと思い、「ようこそ、市長室へ!」という番組として、皆さんに感謝の気持ちを込めて、お届けしました。

それでは、次回の放送もお楽しみに。